



ニュースレター

2023年2月16日配信

美しいガリラヤよりシャローム！世界中でほとんど何も起こらない週があり、それから、7日間の終わりに「ひい！世界中で一体何が起きているんだ？」と思う週があります。まさに、このニュースレターの7日間の周期の終わりにさしかかり、今私が感じていることです。

毎週これを書く上で最も難しい部分の1つは、どの話について言及すべきで、どれについて言及すべきでないかを判断することで、私は以下の8~12のニュース枠に留めるようにしています。週によってはもう少し長い時も、少し短い時もありますが、今回は“短い”週になるとは思いません。ただし、このニュースレターのフォーマットがあり、現在進行中のすべてに触れることはできません。ですから、まだの方は、私の[テレグラムチャンネル](#)を登録することをもう一度お勧めします。

「アミール、あなたはなぜ、テレグラムについて話すときに、いつもフォロワー数に言及するのですか？」と聞かれることがあります。当然の疑問です。私がそれをするのは、私の名前を使用した偽のアカウントが非常に多いためです。確認したところ、現在、名前またはアドレスに「Amir Tsarfati」を使用しているアカウントが他に9つあります。正しいものにサインアップしているかどうかを確かめる方法はあるのか？327,000人を超えるフォロワーがいるアカウントを登録している方は、グッドニュースです。あなたは私を見つけました！6人のフォロワーのものを登録している方は、詐欺に遭うでしょうから、覚悟してください。

最近、私がニュース記事の見出しを付けていることに気付いたかもしれません。皆さんがどのニュースを読み進めるかを決める為です。ほとんどの投稿に情報源へのリンクを加え、必要に応じてさらに読めるようにしています。このニュースレターが、世界で何が起きているかを知るための使いやすいリソースになるこ

とを願っています。そして、私に可能な限り、神がイスラエルでなさっている事と、神がこの世界のために計画されていることの観点から、主が来られる日がどれほど近いかを知る為に、世界的な出来事を見てゆきたいと思っています。

【中東】

トルコとシリア、歴史的な任務に直面

トルコとシリアでは、10日前の歴史的な地震の後も除染作業が続き、奇跡的に、[生存者はまだ瓦礫から発見されている](#)。しかし、そういった話は少なくなり、現在発見されているほぼすべてが、すでに41,000人を超えている死亡者数に追加されている。可能性として、信じられないほどの荒廃は、2つの主要因に起因している。第一に、震源の浅さが揺れの激しさを増大させ、第二に、貧弱な建物の建設が蔓延し、住宅、アパート、高層ビルがすべて倒壊しやすくなっていた。トルコの警察機動部隊は、粗雑な建築の調査を始め、すでに逮捕者が出ている。悪があらゆる機会を利用している証拠として、すでに戦争で荒廃したシリアのアレッポに送られている地震支援物資が、それを必要とする人々に届けられる前に、親イラン民兵に奪われている。

モスクワが大規模な攻勢に備える中、ロシアは攻撃を継続

第二次世界大戦を彷彿とさせるシーンで、キエフの市民はロシアによる別の大規模な巡航ミサイル攻撃から逃れるため、地下鉄に避難した。[先週の金曜日](#)、100発以上のミサイルが国中の都市を標的とし、自爆ドローンが工場や発電所を戦略的に攻撃。ノルウェーの諜報機関は、ロシアの北方艦隊の艦艇と潜水艦が30年ぶりに[核兵器を搭載していると報告](#)。多くの人が、モスクワで行われているハイレベルの会合に注目しており、その結果が正式な宣戦布告になるのではないかと考えています。この決定の要因は、第一に、ウクライナがすでに加盟国であるかのように、NATO諸国がウクライナを武装させることに深く関与していること、第2の要因は、Nord Stream 1および2パイプラインを破壊した爆発に、米国、英国、およびノルウェーが関与した可能性が高いことが明らかになったことである。今後9日間が重要である。

ロシアの巡航ミサイルがモルドバ政府を崩壊

金曜日、ロシアの巡航ミサイル2つが、ウクライナに向かう途中でルーマニアとモルドバの空域を通過した。その挑発は、蔓延するインフレとモスクワが引き起こしたエネルギー危機によって、すでに弱体化していた[ナタリア・ガブリリータ首相の政府](#)に大打撃を与えた。辞任を発表する際、彼女は、自身の政府が

「ロシアのウクライナ侵略によって引き起こされた、これほど多くの危機に対処しなければならなかったとは誰も予想していなかった」と述べた。マイア・サンドゥ大統領は、ガブリリタの後任を指名した際、ロシアが、クレムリンに忠実な政府を樹立するために、モルドバで、[親ロシアのクーデターを計画](#)しているとして、モスクワを非難した。

ロシアの将軍、射殺されて発見される

1 か月前、ロシアのウラジーミル プーチン大統領は、67 歳のウラジミール・マカロフ少将を、内務省の過激派との闘いのための主要総局の副局長としての地位から解任。月曜日、彼は、[どうやら自殺とみられる銃殺された姿で発見された](#)。しかし、「どうやら」という言葉は非常に重要である。なぜなら、マカロフは、大統領の間違った側についていた者達の一連の死の最新の例に過ぎない。ビジネスマン、政治家、軍関係者がすべて、建物から飛び降りたり、崖から転落したり、階段から転落したりした者のリストに含まれている。昨年だけでも、配偶者や子供と一緒に殺害された人が数人おり、他の人々はマカロフ将軍のように、自らの命を絶ったかもしれないし、そうでないかもしれない。

ロシア紅海軍事基地建設に向けてスーダンとの基礎固める

最新のエゼキエル 38 戦争観測の中で、スーダン政府は[スーダンの紅海沿岸にロシア軍事基地を](#)建設するためにモスクワと合意に達した。その見返りに、アフリカの国には武器と軍事装備が供給される。あとはスーダン政府が協定を承認するだけとなったが、残念ながらロシアにとっては、それはしばらく先のことも知れない。スーダンは、2019年4月のオマール・アル・バシールの軍事転覆と、それに続く2021年10月の軍事クーデター以来、正式な政府を持っていない。預言者エゼキエルによると、スーダンは、イスラエルに対する攻撃でロシアに加わる国の1つである。

パレスチナのテロリストがイスラエルの混雑したバス停に車で突進

[悪がその醜い顔](#)をもだげた。金曜日、パレスチナのテロリストが、混雑したエルサレムのバス停に故意に車で突進し、3人が死亡した。20歳の男性と6歳の少年はその場で即死、重傷を負って病院に運ばれた8歳の兄は、翌日死亡した。31歳のテロリストは射殺されたが、この残忍な攻撃は、パレスチナの通りで歌ったり、踊ったり、お菓子を配ったりして祝われた。

イスラエル、カリッシュ油/ガス田からの石油の出荷を開始

イスラエルは先週、カリッシュ油田から原油を積み込んでヨーロッパに送り、[石油輸出国に仲間入りした](#)。関連する話の中で、[イスラエルの外務大臣 エリ・コーヘン](#) はトルコのレジェップ・タイイップ・エルドアン大統領と会談して、地震に対する国民の哀悼の意を表し、とりわけ、トルコを通じてヨーロッパに天然ガスを輸出する可能性について話し合った。

ハクティビスト、イラン大統領のテレビ演説を妨害

イランの[ハクティビストグループ Edalate-e Ali](#)（「アリの正義」）は土曜日、エブラヒム・ライシ大統領がイスラム革命 44 周年を祝っていたテレビ生放送の演説を妨害。放送に侵入した後、仮面をかぶった人物が、「ハメネイに死を」というフレーズをグラフィックで表示しながら、今日 2 月 16 日に広範なデモを開催するよう呼びかけた。

レバノン・リラ、過去最低

今週の“リラ暴落”のエピソードとして、火曜日、レバノンの通貨が、過去最低の [1ドル=74,000 リラに達した](#)。市民は怒りと欲求不満の結果、銀行に放火を始めた。ヒズボラのテロリストがレバノン政府を固く握っている限り、同国の悲劇的な破壊は続くだろう。

列車の脱線により、米国で生態学的災害発生

米国の誰もが気球を探して空に目を向けている間、壮大な規模の生態学的災害が地上で起こっていた。2月3日、3基のエンジンと150両の車両で構成されるノーフォークサザン鉄道の列車が、オハイオ州イーストパレスチナの近くで脱線。被害を受けた11台の車両は[危険な化学物質を運んでおり](#)、それらが近くの2つの小川に流れ込み始めた。事故の3日後、爆発を防ぐために化学物質の制御された燃焼が開始された。脱線以来、魚は死に、他の動物種は被害の証拠を示している。ほぼ2週間経った今も、人々は目に痛みを訴え、町全体が悪臭を放っている。政府はすべて問題ないと言っているが、人々はそれを受け入れず、答えを求めている。

中国、核兵器の3倍増を検討

台湾を巡って米国との緊張が高まる中、中国は[核弾頭の備蓄を3倍にすることを検討している](#)。これにより、国の備蓄合計は900に増加するが、それでもロシアまたは米国が所有するものの20%未満である。

ニュージーランド、サイクロンにより押し流される

[サイクロン ガブリエルが月曜日にニュージーランドを襲い、4人が死亡し、広範囲にわたる洪水を引き起こす大量の雨をもたらした。未だに行方不明者が多いため、死者数の増加が懸念されている。](#)

【ミニストリー】

COVID-19 パンデミックは、世界の「日常」を一時的に変えました。さらに、社会が無法状態に陥り、グローバルリストのアジェンダが前進し、教会が分裂するのを見ました。クリスチャンは、この新しい進歩的な世界の状況にどのように対応すべきでしょうか？ 2月17日金曜日の午後12時(太平洋標準時)に、マイク・ゴレイ牧師の[“Post-COVID Prophecy” \(英語\)](#)をご覧ください。その中で、彼は聖書を使って、世界は正常に戻るのではなく、聖書の預言に深く飛び込んでいる事を示します。

昨夜、私はここイスラエル北部で友人のエリック・ステールベック氏のインタビューを受けました。とても興味深い会話だったと思います。このエキサイティングな番組の公開に関する情報をお楽しみに！

初代教会が始まったとき、長老たちは「祈りと御言葉の奉仕」に励みました。(使徒 6:4)ビホールド・イスラエルでも、私たちキリスト者の生活に不可欠なこれら2つの要素に励んでいます。そのため、毎週月曜日の午前10時(太平洋夏時間)には、毎週の祈り会を開催しています。世界中の信者が集まり、世界の出来事、イスラエルの国、ビホールド・イスラエルのミニストリー、そしてお互いのために祈る時間です。その後、毎週木曜日の午後6時(太平洋夏時間)に、公開聖書朗読(PRS)で再び集まります。私たちが集まり、神の御言葉をただ読むのは至福の時です。どなたでもご参加いただけますので、ぜひご参加ください。

このミニストリーのために忠実に祈り、支援してくださっているすべての方々に感謝します。先週は、2024年、さらには2025年に向けて計画を立てる事に時間を費やし、神に仕え、神の真実を分かち合う機会を神が与えてくださっていることにワクワクしています。私たちは神に目を向け続け、ミニストリーのすべての開いたドアを通して神に従います。

主の来臨を待ち望む。



ビホールド・イスラエル 日本語 YouTube チャンネル

<https://www.youtube.com/@BeholdIsraelJapanese>

日本語の聖書箇所は特記がされていない限り新改訳 2017 より引用しています。

聖書 新改訳 2017©2017 新日本聖書刊行会

メッセージの無断転載を固く禁じます。

Copyright © ビホールド・イスラエル All Rights Reserved.